

西 則男氏

片岡製作所社長

次世代電池向けシェア拡大



「電気自動車（EV）市場の成長が予測よりも鈍化しています。主力の二次電池検査システム事業の状況は。」

「日本と北米の自動車メーカーや電池メーカーなどの設備投資意欲が非常に旺盛だ。当社は過去にないほどの受注残を抱えており、世の中で心配されているようなマイナスイメージはない。ただ、米国の新政権の出方を注視する向

きもあり、北米ではカナダを含めて少し様子見ムードが漂う。また、欧州は厳しい」

「ペロブスカイト太陽電池が注目されています。」

「レーザー加工システム事業で、次世代の太陽電池であるペロブスカイト太陽電池向けレーザーパターンニング装置を手がけている。シェアトップだった薄膜太陽電池用レーザーパターンニング装置を応用

積極的に技術人材採用

した製品で、同装置で培い特許を持つ三つの補正技術が強みだ。原材料を輸入に頼ったシリコン系太陽電池と違い、ペロブスカイト太陽電池は主原料のヨウ素の世界シェア3割超を日本が持ち、期待値は高い。装置は国内のみで展開し、シェア100%を目指していく。半導体業界向けで超精密穴開け装置も好調だ」

「7月に新本社・研究開発センターが完成します。」

「二次電池検査システムとレーザー加工システムはオーバーラップする部分も多く、研究開発部門などは集約し、切磋琢磨した方が良くと考えた。国際競争に打ち勝つ技術開発にはスピード感が不可欠だ。人材採用を積極的に進めるほか、ペロブスカイト関連のみで技術人材を2029年までに50人増やす計画だ」